



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 カルビー株式会社  
 コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 平川 功 (TEL) 03-5220-6222  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	75,985	△0.4	3,893	△15.9	3,499	△23.1	1,772	△27.2
23年3月期第2四半期	76,266	—	4,631	—	4,547	—	2,435	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,609百万円 (△25.2%) 23年3月期第2四半期 2,152百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	55.25	54.16
23年3月期第2四半期	84.42	—

(注) 平成23年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	100,640	74,815	71.1
23年3月期	99,393	72,924	70.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 71,527百万円 23年3月期 70,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.9	11,000	2.6	10,600	0.3	6,000	41.1	186.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社 (HAITAI-CALBEE Co., Ltd.)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期2Q	32,248,450株	23年3月期	31,917,450株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	一株	23年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期2Q	32,080,614株	23年3月期2Q	28,849,450株

(注) 平成23年1月14日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 2 平成23年1月14日付で、普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。
- 3 平成24年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数32,248,450株により算出しております。
- 4 当社は、平成23年10月28日(金)に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	第2四半期連結累計期間	
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
	第2四半期連結会計期間	
	四半期連結損益計算書	9
	四半期連結包括利益計算書	10
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
	(4) 継続企業の前提に関する注記	13
	(5) 追加情報	13
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動や輸出の大幅な減少からは持ち直しつつあるものの、欧州・米国の景気後退懸念と円高の進行により、依然として先行き不透明な状況が続いております。そのような状況の中で個人消費は、震災直後の消費マインドの悪化や風評被害は徐々に緩和されつつあり、緩やかな回復傾向にあります。

スナック菓子市場においても、自粛や節約の動きは徐々に解消され、震災前の状況に回復しつつあります。

このような環境にあつて、当社グループは、被災した4工場の早期復旧に向けた取り組みを行い、5月下旬までに全ての生産ラインで生産を再開することができました。しかし、4月、5月は新製品の発売の遅れや広告展開、店頭でのプロモーション活動の自粛が影響し、売上高は前年割れの状況となりました。5月下旬より新製品の展開や店頭プロモーション活動を再開したことにより、6月以降は前年同月を上回って推移し、第2四半期連結累計期間の売上高は、75,985百万円（前年同四半期比0.4%減）となり、ほぼ前年並みまで回復しました。

利益面では、引続きコスト・リダクションを推進しましたが、原材料価格の上昇や震災の影響に伴う物流費等経費の増加により、営業利益は3,893百万円（前年同四半期比15.9%減）、経常利益は3,499百万円（前年同四半期比23.1%減）、四半期純利益は1,772百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。

#### ・事業別の状況

##### (食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、74,833百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

##### ・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、店頭プロモーションの自粛等により、64,957百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

##### ① ポテト系スナック

「ポテトチップス」は、増量キャンペーンや期間限定・地域限定製品の積極的な投入、「じゃがりこ」は期間限定製品の展開を行ったことにより、6月以降は売上が回復しましたが、4月、5月の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

「Jagabee」は、新宇都宮工場が被災したことに伴うボックスタイプの一時休売が影響し、ほぼ前年並みの売上となりました。

##### ② 小麦系スナック

6月以降は、「かっぱえびせん」や「サッポロポテト」等の定番製品やリニューアルした「さやえんどう」の売上が伸長しましたが、第1四半期連結累計期間の売上減少が大きく、売上高は前年同四半期を下回りました。

##### ③ コーン系スナック

震災の被害を受けなかったコーン系スナックは、「マイクポップコーン」、「ドリトス」、「チートス」等が堅調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

##### ・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、ベーカリー、シリアル食品が堅調に推移し、9,876百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。ベーカリーは、キャンペーン効果と取扱店舗数の増加により、売上高は前年同四半期を上回りました。シリアル食品は、清原工場が被災したため、4月下旬まで出荷できませんでしたが、生産を再開した5月以降は「フルーツグラノーラ」の売上が回復し、売上高は前年同四半期を上回りました。

##### (その他事業)

物流事業及び販売促進ツールの売上高はともに前年同四半期を上回り、1,151百万円（前年同四半期比13.3%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は100,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,247百万円増加いたしました。この主な要因は、固定資産は減価償却費が取得額を上回ったことにより減少しましたが、原材料馬鈴薯の最大の産地である北海道での収穫期を迎えたため、たな卸資産及び前渡金が増加したことによるものです。

負債は、買掛金は増加しましたが、未払金及び災害損失引当金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ644百万円減少し、25,824百万円となりました。

純資産は、四半期純利益を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,891百万円増加し、74,815百万円となりました。

この結果、自己資本比率は71.1%となり、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は2,218円00銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,156百万円減少し、17,081百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,696百万円の純収入(前年同四半期は7,850百万円の純収入)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益3,558百万円、減価償却費3,220百万円の資金の増加があったものの、たな卸資産の増加2,004百万円、法人税等の支払額2,432百万円の資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,985百万円の純支出(前年同四半期は1,331百万円の純収入)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出2,155百万円の資金の減少があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは590百万円の純支出(前年同四半期は5,134百万円の純支出)となりました。この主な要因は、ストックオプションの行使による収入529百万円の資金の増加がありましたが、配当金の支払額931百万円の資金の減少があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の状況を勘案し、平成23年5月10日に発表した業績予想を下記の通り修正いたします。

通期 連結業績予想値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	160,000	11,000	11,000	6,000	187.16
今回修正予想(B)	160,000	11,000	10,600	6,000	186.06
増減額(B-A)	—	—	△400	—	—
増減率(%)	—	—	△3.6	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	155,529	10,717	10,570	4,253	146.48

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

日本、中国に次ぐアジアの有望市場である韓国スナック市場でのカルビー製品の販売拡大を図ることを目的として、平成23年7月に韓国の有力菓子メーカーであるHAITAI Confectionery & Foods Co., Ltd.との合弁会社 HAITAI-CALBEE Co., Ltd. を設立し、同社を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,238	17,081
受取手形及び売掛金	11,139	11,836
たな卸資産	4,276	6,242
その他	3,779	4,957
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	37,420	40,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,678	21,039
機械装置及び運搬具(純額)	14,550	13,672
土地	10,707	10,724
建設仮勘定	619	1,054
その他(純額)	922	880
有形固定資産合計	48,478	47,371
無形固定資産		
のれん	4,822	4,814
その他	1,911	1,664
無形固定資産合計	6,734	6,479
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,855	6,782
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	6,761	6,688
固定資産合計	61,973	60,538
資産合計	99,393	100,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,656	—
支払手形及び買掛金	—	9,423
短期借入金	107	55
1年内返済予定の長期借入金	182	93
未払金	3,914	2,684
未払法人税等	2,443	1,318
賞与引当金	3,096	2,532
役員賞与引当金	182	128
災害損失引当金	1,378	57
その他	4,327	4,009
流動負債合計	21,288	20,303
固定負債		
長期借入金	9	9
退職給付引当金	3,335	3,529
役員退職慰労引当金	424	461
資産除去債務	658	663
その他	752	857
固定負債合計	5,180	5,521
負債合計	26,469	25,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,744	11,009
資本剰余金	10,312	10,577
利益剰余金	49,938	50,817
株主資本合計	70,995	72,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62	△9
為替換算調整勘定	△697	△868
その他の包括利益累計額合計	△759	△877
新株予約権	102	102
少数株主持分	2,585	3,186
純資産合計	72,924	74,815
負債純資産合計	99,393	100,640



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 第2四半期連結累計期間  
 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	76,266	75,985
売上原価	44,833	45,075
売上総利益	31,432	30,909
販売費及び一般管理費	26,801	27,015
営業利益	4,631	3,893
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	47	41
不動産収入	35	34
再商品化委託料精算金	98	79
受取損害賠償金	—	71
その他	126	103
営業外収益合計	311	340
営業外費用		
支払利息	38	3
為替差損	211	606
その他	145	124
営業外費用合計	395	734
経常利益	4,547	3,499
特別利益		
固定資産売却益	953	9
助成金受入益	27	230
負ののれん発生益	—	175
貸倒引当金戻入額	65	—
災害損失引当金戻入額	—	163
その他	52	1
特別利益合計	1,098	581
特別損失		
固定資産売却損	6	27
固定資産除却損	204	38
災害による損失	—	258
関係会社整理損	—	129
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	351	—
その他	207	67
特別損失合計	769	521
税金等調整前四半期純利益	4,877	3,558
法人税、住民税及び事業税	2,258	1,327
法人税等調整額	△30	261
法人税等合計	2,227	1,589
少数株主損益調整前四半期純利益	2,649	1,969
少数株主利益	214	196
四半期純利益	2,435	1,772

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,649	1,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	52
為替換算調整勘定	△451	△412
その他の包括利益合計	△497	△359
四半期包括利益	2,152	1,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,099	1,654
少数株主に係る四半期包括利益	53	△44

第2四半期連結会計期間  
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	37,233	40,294
売上原価	21,821	23,829
売上総利益	15,411	16,465
販売費及び一般管理費	13,547	13,956
営業利益	1,863	2,508
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	1	1
不動産収入	17	16
再商品化委託料精算金	98	79
その他	32	64
営業外収益合計	152	169
営業外費用		
支払利息	18	1
為替差損	123	402
その他	73	46
営業外費用合計	215	451
経常利益	1,801	2,227
特別利益		
固定資産売却益	37	0
負ののれん発生益	—	175
貸倒引当金戻入額	10	—
その他	23	34
特別利益合計	71	210
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産除却損	157	16
災害による損失	—	5
関係会社整理損	—	129
その他	17	13
特別損失合計	181	166
税金等調整前四半期純利益	1,691	2,271
法人税、住民税及び事業税	229	472
法人税等調整額	545	493
法人税等合計	774	965
少数株主損益調整前四半期純利益	917	1,305
少数株主利益	94	99
四半期純利益	823	1,205

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結会計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	917	1,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	31
為替換算調整勘定	△210	△291
その他の包括利益合計	△231	△260
四半期包括利益	686	1,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665	1,141
少数株主に係る四半期包括利益	20	△96

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,877	3,558
減価償却費	3,449	3,220
のれん償却額	274	289
負ののれん発生益	—	△175
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	351	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△325	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	△561
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76	△53
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	201
前払年金費用の増減額 (△は増加)	85	70
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	46	36
受取利息及び受取配当金	△51	△50
支払利息	38	3
為替差損益 (△は益)	198	564
助成金受入益	△27	△230
投資有価証券売却損益 (△は益)	△28	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	171	13
固定資産売却損益 (△は益)	△947	17
固定資産除却損	204	38
災害損失	—	95
関係会社整理損	—	129
売上債権の増減額 (△は増加)	1,138	△802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△558	△2,004
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,494	3,819
未収入金の増減額 (△は増加)	△142	△82
未払金の増減額 (△は減少)	207	△1,014
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△301	△408
その他	△750	△1,542
小計	10,348	5,132
利息及び配当金の受取額	92	53
利息の支払額	△38	△4
助成金の受取額	27	230
災害損失の支払額	—	△1,282
法人税等の支払額	△2,579	△2,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,850	1,696

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,401	△2,018
有形固定資産の売却による収入	2,800	122
無形固定資産の取得による支出	△195	△136
投資有価証券の取得による支出	△9	△8
投資有価証券の売却による収入	38	7
関係会社株式の取得による支出	—	△13
貸付けによる支出	△79	△98
貸付金の回収による収入	5	107
差入保証金の差入による支出	△26	△99
差入保証金の回収による収入	247	168
その他	△46	△17
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,331</b>	<b>△1,985</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,488	△44
長期借入れによる収入	3	—
長期借入金の返済による支出	△1,819	△89
ストックオプションの行使による収入	—	529
配当金の支払額	△692	△893
少数株主への配当金の支払額	△92	△38
リース債務の返済による支出	△45	△54
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,134</b>	<b>△590</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△130	△276
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,916	△1,156
現金及び現金同等物の期首残高	4,469	18,238
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27	—
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>8,413</b>	<b>17,081</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。